

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人光洋会	代表者	田中 八枝子	法人・事業所の特徴	様々な場面で利用者の方の自己決定を促し、趣味や家事活動にも個々の能力や希望に応じて参加していただいている。利用者や家族の生活状況に合わせて通いや訪問、泊りサービスを柔軟に組み合わせている。社協主催のサロンで介護予防や認知症予防の啓発に出張講演に出向いたり、宗像市内外の小規模事業所と勉強会や交流会を開き職員の学びの場としている。中学生の職場体験や社会福祉士の実習も受け入れ次世代の福祉の担い手の育成にも力を入れている。
事業所名	城山庵	管理者	小方 奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	人	2人	人	人	4人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	来年度は、効率よく話し合いを進め、サービス評価にかかる時間や労力を軽減できる様にしたい。	事業所自己評価は職員のレベルが違う為判断しにくい場合があり事業所として判断するよう周知した。外部評価に係る労力は前年度と大きな差はなく軽減するまでには至っていない。	評価項目の中には、解釈に迷うものや複数の意味に取れる項目があった。	利用者の生活歴や自宅での様子など利用者に関する情報を会話から聞き取るという意識をもって業務にあたる。スタッフ評価で改善計画の立案まで各自考えて事業所評価に望み、外部評価を効率よく進める。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の敷地に「子ども110番」のステッカーを貼り、子どもたちが、事業所に入りやすいような表示をする。	防犯のステッカーはコミセンに協力いただき事業所の駐車場や公用車に掲示した。	掲示したステッカーは小さくて気づきにくいのが既製のものなのでサイズの変更は難しい。事業所は平屋でバリアフリーなので物理的に入りやすく、玄関も個人の家のように親しみやすい。	トイレの換気扇のスイッチが切れていたり、フロアの不快な匂いが解消できるよう、換気扇の使用を意識しておこなう。
C. 事業所と地域のかかわり	石丸地区の福祉会や民生委員と地域の取り組みで一緒にできる活動を検討し、協働を目指す。	石丸区とのかかわりは、行事への協力や回覧板で城山庵便りを地域住民に見ていただいたが、今年法人に地域包括支援センターが開設され地域や民生委員との取り組みは今後包括の役割となる。	法人に開設された地域包括支援センターと事業所が連携して地域の困りごとについて解決する仕組みを作っていくと良いのではないかと。地域との関わりは利用者の住んでいる地域に事業所がどう関わるかを考えると良いと思う。	通勤途中にも一般の方へ積極的にあいさつする、「あいさつ運動」をおこなう。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の支援について地域の方も交えた会議を今後も開催していく。利用者の住んでいる地域や施設周辺で開催されているイベントを把握し、参加可能な行事には当該利用者を中心に参加する。	地域の方が参加した会議の開催まで至ったケースはなかったが独居の認知症の方は必要に応じて民生委員や近隣住人と情報交換をおこなった。地域の祭りやサロンなど地域の行事には当該利用者と参加の機会を作った。	吉武地区は昔からの住民同士のつながりもあり取り組みを一緒にする際は協力的で助けていただいた。文化祭や夏祭りなど参加を続けていきたい。	認知症独居の方の住んでいる地域の民生委員や近隣住人との連絡体制を作り、連携が図られる関係作りを目指していく。地域の行事やイベント参加では行き先や行程について利用者の意見を取り入れていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	推進会議で利用者以外の地域の方や、小規模の利用者について事例検討をおこない、推進委員の方と意見や情報の交換をおこなう。	回数は少なかったが、小規模利用者の事例検討を推進会議で行い、地域住民としての意見や事業所とはまた違った視点で支援の提案をいただいた。	小規模の利用者以外でも具体的な事例を通して小規模を始め介護や支援のあり方を深めていきたい。	推進委員からも、地域の心配な方への支援について情報をもらい、会議の中で対応策や支援のあり方について検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	推進委員の方に城山庵の防災計画を開示する。地域の防災訓練に、次回は参加可能な利用者も職員と一緒に参加してみる。	事業所の防災計画については開示した。また地域の防災訓練にも職員と一緒に当該地区の利用者も参加し、地域の方と交流を図る機会となった。	城山庵も近隣の方にいざと言う時駆けつけてくれる協力員のような方を集めると良いと思う。災害時の応援は必要と思うが避難訓練の参加や見学のちらしを配っても来ていただけないのが現状である。	城山庵の防災訓練に、近隣の方が参加してもらえるような呼びかけ方法を工夫する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (19 : 00 ~19 : 20)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小方 幸田 池田 (照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
 白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
 友野 大和 池田 (優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	16 人	0 人	0 人	21 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 朝の申し送りの記録を確実に行う。(記録担当者が、送迎などでその場を離れる時は、必ず他の職員に記録を申し送る) 新規利用者の情報に職員閲覧確認印欄をつける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 朝の申し送りでは、記録担当の職員がその場を離れる時は、別の職員に申し送り、記録に落とすようにしている。 新規利用者の情報は全員が閲覧したかがわかるよう、確認印を押すようにして周知している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	10	11	0	0	21
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	12	2	0	21
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	15	0	0	21
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	13	5	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の基本情報やアセスメントは事前に情報を提示し、職員の確認印で全員に周知できたか把握している。 利用開始の時期は特に状態把握に努めるようにして、朝礼での意見交換をこまめに行っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人の情報や変化が個別記録やCのシートに残っていないことがある。 利用開始時、職員は利用者本人に意識が行ってしまい、家族構成や介護状況まで把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用開始時に利用者のアセスメントだけでなく家族状況や家族の心情にも目を向け配慮する。 体験利用の時や利用開始直後 1 週間ぐらはその日の担当職員を一人決めて対応する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (19 : 20～19 : 35)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小方 幸田 池田 (照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
友野 大和 池田 (優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	10 人	10 人	0 人	21 人

前回の改善計画	
・サービス提供時、本人の「～したい」を聞いた職員は、その場でメモを取り、担当職員に渡す。把握できた情報は、担当職員が、個別ファイルのアセスメントシートに記入する。 ・「～したい」を自分から言えない利用者に対しては、選択できるような問いかけをおこなう。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・知りえた情報については、メモを取る時間がなかなか確保できず情報量としてはまだ少ない。また、「～したい」を言えない利用者の意向や希望を聞き出せていないことがある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	9	11	0	21
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	13	0	21
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	14	1	21
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	15	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・行事などあればそれに向けて目標を立てて行動している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「～したい」に対して目標を本人に持っていただくという姿勢に欠け、個別ケアより集団での行動に比重が大きくなっている。 ・「～したい」を言える利用者に対しては目標を立てやすいが、自分から言えない利用者に対して、観察不足だったり、声かけができていないことがある。 ・個別の記録にケアプランの援助内容に対しての評価が記載されていないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・レクリエーションや外出行事の企画にあたっては利用者にも参加していただき、意見を聞く機会を持つ。 ・午後のレクリエーションの時間は全体レク以外で個別に取り組んでいる活動に取り組みやすいよう準備しておく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (19 : 35～19 : 55)

3. 日常生活の支援

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	10 人	0 人	21 人

前回の改善計画
・その方の以前の暮らし方を聞いた職員は、メモを取り、利用者の担当職員に渡す。把握できた情報は、担当職員が、個別ファイルのアセスメントシート、Cのシートに記入する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者の知りえた情報がアセスメントシートやCのシートに記入されていないケースもあるが、職員の中には情報を記録に落とす機会も増えてきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	5	13	3	21
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	13	0	0	21
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	10	0	21
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	14	1	0	21
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	15	2	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・基礎的な介護については、本人の状態に合わせてケアを提供し、変化があればその都度ケアを見直している。 ・担当者会議の際、本人や家族から以前の暮らし方について、話を聞き、把握するようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・担当利用者以外の利用者に対し情報を聞きだしていない。また記録する時間を作り出せていない。 ・日常的な変化に対して家族への聞き取りが足りなかったり、職員間で情報を共有できていないことがある。 ・よく対応する一部の職員が把握している情報を職員皆が共有するまでには至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・朝の申し送り時に前日の業務日誌を読み上げ記載もれはその場で記入していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (19 : 55 ~ 20 : 10)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	10 人	2 人	21 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を把握するため、職員も日々の会話で利用者から聞いた地域資源の情報があれば、メモに取り、ケママネに渡す。知り得た利用者の地域資源については、アセスメントシートの暮らしの様子や長年なじんだものの項に加筆し、必要に応じてケアプランに位置づける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の地域資源についての情報は本人から言えない場合も多く聞き出せないことがある。また地域資源についてアセスメントシートに加筆しているが、それを活用したケアプラン立案までには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	11	8	0	21
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	16	5	0	21
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	11	0	21
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	10	4	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 独居の方は、出来るだけヘルパーの訪問をおこない、家族の知らない情報を提供したり、突発的な問題にも対応できる様にしている。また、民生委員とは必要に応じて連絡を取り合い、地域の中で生活が円滑に行われるよう情報交換をおこなっている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 行動範囲が狭くなり昔のような人間関係や交流を持っていない方がほとんどで、昔の暮らしをどのようにサービスとして活用するか、またそれが保険の範囲で出来るのかを考えると現在の生活を重視した支援になってしまう。 同居家族がいる場合、1 人になる時間は家族に任しているので把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 独居、同居に関わらず、その人の地域を意識した話かけをしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (20 : 10 ~ 20 : 25)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	15 人	2 人	0 人	21 人

前回の改善計画	・利用者の変化に対して、看護記録の技術向上を目指し、健康面や病状の変化・経過・結果を記録し、さらに申し送りで情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・看護記録には変化があれば図を用いて他のスタッフにも把握しやすいよう工夫するようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	13	7	0	21
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	14	1	0	21
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	10	2	0	21
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	15	1	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・訪問や通所の時間や回数は、ニーズに合わせて柔軟に対応し、その分本人の望まない泊まりサービスを最小にとどめることができている。 ・精神的に不安になった利用者には個別で対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・その日の体調変化に対して、看護師と介護士の情報共有ができていないことがある。 ・地域資源の活用に関しては、家族の理解が必然であり、なかなか活用までには至っていない。 ・地域資源について情報を集める努力をしていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・朝の健康観察で体調不良の利用者がいれば、看護師がバイタルチェック表にチェックを入れ 午後の介護リーダーがそれを把握し、その日の活動参加を決める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (20 : 25 ~ 20 : 40)

6. 連携・協働

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
 白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
 友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	9 人	3 人	0 人	21 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 毎年吉武地区の地域交流の場となっている吉武文化祭に、今までは観客として参加していたが、来年は、文化祭で認知症の劇を行い地域住民や子どもたちに認知症や事業所の理解を深めていただく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 今年吉武芸術文化祭で子どもたちに向けた認知症啓発の寸劇をおこなった。文化祭出場に当たっては、地区のコミセンや学校関係者、また子ども向けパンフレットを配布する為、千葉大学のプロジェクトチームにも協力を仰ぐなどネットワークも作ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	10	7	3	1	21
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	7	9	2	21
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	15	3	0	21
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	10	9	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議では事業所の職員と福祉用具相談員、前任のケアマネなど交えて情報を共有している。 地域の行事や祭りの参加だけでなく、地域の防災訓練にその地区の利用者と一緒に参加した。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 人通りが少なく、登録者以外の高齢者や子どもの訪問は少ないが、子ども会活動への協力をおこない今年初めてハローウィン行事で子どもたちの訪問を受けた。 地域包括支援センターが開催する地域ケア会議は居宅中心で会議出席の機会はなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 今年交流ができた赤間地区子ども会や学童保育に事業所の方から交流を提案しその場を作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (20 : 40 ~ 20 : 55)

7. 運営

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
 白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
 友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	16 人	4 人	1 人	0 人	21 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 自治体でとりくんでいる防犯活動への協力として、「子ども 110 番」や「パトロール中」のステッカーを事業所や公用車に掲示する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども 110 番」や「パトロール中」のステッカーを事業所の入り口や公用車に掲示し防犯活動へ協力し、地域への注意喚起をおこなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	10	9	0	21
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	13	3	0	21
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	18	3	0	21
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	12	4	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族アンケートを毎年実施し、意見をいただく機会とし、その結果を元に家族会を開催している。 来年度法人内に地域包括支援センターができるため地域のかかわりは包括の事業になる可能性もあり、今後混乱しないよう活動をセーブしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 苦情に繋がらないよう施設側から進んで連絡や報告をしているので、事業所に対しての意見や苦情を聞けていない。 事業所のありかたについて職員自身気づかないことも多く意見を発言できていない。 地域と協働した取り組みまではあまりできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 事業所のあり方とは何かをまず話し合う。その上で事業所のあり方について職員全員が意見をいう事ができるよう、申し送りや定例会で発言の場を多くする。 家族会でできるだけ多くのご家族から意見をいただけるよう、参加しやすい日時や曜日を家族アンケートで把握し、家族会を開催する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (20 : 55 ~ 21 : 15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
 白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
 友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	13 人	0 人	0 人	21 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク回避につなげるために、毎月開催されている城山庵の職員会議で当月のリスクの件数をリスク委員より発表し、よく起きている事案については、レポートを提出した職員から再発防止に向けた検討策を発表してもらう。 ・3ヶ月に1度、事業所内で危険と思われる状況を写真に取り、KYTの検証をおこなう。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・よく起きているリスクに関しては、レポート提出した職員から対応策について報告を行ったり、事業所内で発見したKYTについては、写真を使い定例会で検証してリスク回避に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	16	1	0	21
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	12	5	0	21
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	16	2	21
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	19	0	0	21

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修会参加については、出席職員に差があるが、向学心のある職員は、法人内外の研修にも積極的に参加している。 ・リスク委員が毎月レポートをまとめてアットハットも含めて起きた事案全てを職員に報告しレポートを回覧している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境的には学ぶ機会が多く設けられているが、学ぶ姿勢は個人差が大きく、職員格差を縮めることができない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々の研修計画を個人管理にする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 25 日 (21 : 15 ~ 21 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小方 幸田 池田(照) 金田 東 白木 井上 横道 金村
白山 神谷 荒牧 安部 石松 広瀬 明比 合島 野中
友野 大和 池田(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	17 人	3 人	0 人	21 人

前回の改善計画
・居室でのおむつ交換や入浴の際、タオルワークを確実に実践していく。
・「ダメ」という言葉を言わない。

前回の改善計画に対する取組み結果
・タオルワークの実践では、職員のスキルに差があり、オムツの当て方を確実にを行うことを優先してしまっている事があり、今後の職員の成長課題ともいえるが、タオルワークが職員の意識にも定着してきた。
・「ダメ」と言う言葉は、一斉に利用者が移動しようとする際は事故防止のため、動きを止める言葉を投げかける場合もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	9	0	0	21
②	虐待は行われていない	15	6	0	0	21
③	プライバシーが守られている	0	20	1	0	21
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	10	5	3	21
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	18	0	0	21

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・虐待やプライバシーに関しては毎年勉強会を開催し、職員が講師となり理解を深める場を持っている。
・平屋の特徴を活かし身体拘束はもちろんのこと窓や玄関は施錠せず、精神的な圧迫感を与えないよう配慮している。ドアのガラス部分には目張りをおこない羞恥心に配慮している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度に関しては案内をしたり、説明をおこなっているが家族の理解や社会的な必要性も低く、活用までには至っていない。
・個人情報では、書類がカウンターに置いたままになっているなど、職員の意識にかける場面がある。
・職員同士の申し送り事項では大きな声で引き継ぐ場面が見受けられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・個人情報が記載されているバインダーやファイルを利用者の目に触れやすいカウンターに置いたままにせず、所定の保管場所に置く。